

教育指導要綱

2026年度

科目	被服構成理論Ⅲ	学年	Ⅲ	学科	ファッションスペシャリスト科	担当教員	増子 佳世
【授業概要・目標】 パターン技法やデザイン構成の更なる向上を図るための作品を制作する。							
【評価方法】 作品提出により点数採点							
	指導内容						時間
1	作品制作のための理論と実技						30
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 WWD、Vogue、デザインマガジン							
【実務経験】 デンマーク・フィンランド・パリ・ドイツ等において自社にてパタンナー、デザイナー等の実務経験有							

教育指導要綱

2026年度

科目	被服構成基礎Ⅲ	学年	Ⅲ	学科	ファッションスペシャリスト科	担当教員	増子 佳世
【授業概要・目標】 特殊素材の、難しい布を用いて、その布素材の特性を踏まえた縫製技術などを学ぶ							
【評価方法】 作品と課題の提出により点数評価							
	指導内容						時間
1	薄物						
2	ケミカルレース						
3	リバーシブル						
4							
5							200
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 複勝造形講座⑥、資料							
【実務経験】							

教育指導要綱

2026年度

科目	被服構成応用Ⅱ	学年	Ⅲ	学科	ファッションスペシャリスト科	担当教員	増子 佳世
<p>【授業概要・目標】 グループワークを通して実際の会社で働くためのチームワークを学び最終的に作品を提出する。見学を個々に用いて、リサーチをして、自身の調査力、それをもとにして創造力を高める。</p>							
<p>【評価方法】 出席日数と作品提出により点数評価</p>							
	指導内容						時間
1	グループワーク 企画／リサーチ						
2							200
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
<p>【使用教材】 各自ネット、ファッションマガジン、テキスタイル資料</p>							
<p>【実務経験】 デンマーク・フィンランド・パリ・ドイツ等において自社にてパタンナー、デザイナー等の実務経験有</p>							

教育指導要綱

2026年度

科目	創作作品Ⅲ	学年	Ⅲ	学科	ファッションスペシャリスト科	担当教員	増子 佳世
【授業概要・目標】 既存モードの洋服の写真からそのスタイルのパターンを分析し、シーティングを用いて、3Dのコピーを制作し、平面の絵型から立体を作る構成力を養う。							
【評価方法】 提出作品により点数評価							
	指導内容						時間
1	デザイン決定ののち、コピーワーク。						
2							100
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 プリント、WWD、ボーグ、シーティング等							
【実務経験】							

教育指導要綱

2026年度

科目	立体裁断Ⅲ	学年	Ⅲ	学科	ファッションスペシャリスト科	担当教員	佐々木 司
<p>【授業概要・目標】 目的とする服に仕上げるために、美しいフォルムを持ち機能性の伴うパターンを、視覚と触覚により作り出していく高度な技術である。これを学ぶことにより、人体の構造もより深く理解することができる。授業においては、デモンストレーションの確認～学生それぞれの実習を繰り返しながら行い、身体と感覚で技術を習得していくように指導する。</p>							
<p>【評価方法】 トワルピン仕上げをボディに着せつけて提出、デザインが通りに表現できているかを考慮しながら、以下の観点について点数評価する。（フォルム、水平、垂直、構造線の位置）、シルエット、ゆとり分量、量感のバランス、布目の流れ、地直し、ピンの打ち方、出欠状況）</p>							
	指導内容						時間
1	立体裁断の理論と実技 全般						
2	プリンセスラインのジャケット+ショールカラー、2枚袖その他						
3	デザイン発想の為のテクニック						
4							100
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
<p>【使用教材】 文化ファッション体系、アパレル生産講座3、立体裁断基礎編、スタンドボディー、シーチング、シルクピン、裁断バサミ、定規</p>							
<p>【実務経験】 株式会社ワールドにてパターンナーとして実務経験有り</p>							

教育指導要綱

2026年度

科目	卒業作品Ⅱ	学年	Ⅲ	学科	ファッションスペシャリスト科	担当教員	増子 佳世
【授業概要・目標】 3年間の集大成としての作品を作り、ポートフォリオとともに発表する。□							
【評価方法】 作品の提出と発表内容にて点数評価							
	指導内容						時間
1	最終課題についての制作、ポートフォリオ発表						
2							210
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 PC、ネット、WWD、ファッションマガジン等							
【実務経験】							

教育指導要綱

2026年度

科目	スタイル画Ⅲ	学年	Ⅲ	学科	ファッションスペシャリスト科	担当教員	久道 優子
<p>【授業概要・目標】 服づくりの基礎である製図を理解し、製図をみて着装画、ハンガーイラストが描けるように学ぶ。縫製技術が身に着けた為、コンテストに参加し、どのような手順でまとめていくか彩色を加え一連の作業を体験する。</p>							
<p>【評価方法】 課題を点数評価。期限後の提出、欠席は減点とする。</p>							
	指導内容						時間
1	YKKファスニングアワードコンテスト						
2	ブランド研究						
3	ザッカコンテスト						
4	全国服飾学校デザイン画コンクール						
5	フォーマルウェアについて						
6	卒業制作						
7							
8							30
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
<p>【使用教材】 作成プリント、色鉛筆、コピック、パステル、教科書</p>							
<p>【実務経験】</p>							

教育指導要綱

2026年度

科目	色彩学Ⅲ	学年	Ⅲ	学科	ファッションスペシャリスト科	担当教員	佐藤 知美
<p>【授業概要・目標】 色彩単色、及び配色の持つイメージや、色の属性がファッションに与える影響を学び、コンセプトにふさわしい色を選択する。また、色の性質や感情、色の組み合わせを生かし、自分のイメージを効果的に表現する。</p>							
<p>【評価方法】 課題、出席日数、授業態度</p>							
	指導内容						時間
1	色相による色のイメージ						
2	トーンによる色のイメージ						
3	イメージ別配色法						
4	色の属性がもたらす顔の印象						
5							
6							15
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
<p>【使用教材】 カラーカード、絵具、色鉛筆、プリント、ケント紙、カラードレープ</p>							
<p>【実務経験】 グラフィックデザイン、高等学校美術教員、 仙台ヘアメイク専門学校教員（色彩・デザイン・文化論）</p>							

教育指導要綱

2026年度

科目	アパレル繊維論Ⅲ	学年	Ⅲ	学科	ファッションスペシャリスト科	担当教員	増子 佳世
【授業概要・目標】 実際に手芸の技法や、テキスタイルを加工する技法を使って、繊維で構成された布素材の表面加工の技術を学び、実際に加工もしてみる							
【評価方法】 実習課題、出席日数で点数評価							
	指導内容						時間
1	スモッキングの種類を縫い方						
2	作品制作						
3							
4							
5							
6							
7							30
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 文化ファッション大学系服飾専門講座8及び資料							
【実務経験】							

教育指導要綱

2026年度

科目	西洋史Ⅲ	学年	Ⅲ	学科	ファッションスペシャリスト科	担当教員	増子 佳世
【授業概要・目標】 中世のドレスパターンを参考にシーティングを使用し実寸サイズで制作する。							
【評価方法】 作品の提出、レポートにて点数評価							
	指導内容						時間
1	実習 パターン 講義						
2							15
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 Pattern of fashion 1,2 Janet Arnold 、シーティング 他							
【実務経験】							

教育指導要綱

2026年度

科目	解剖学	学年	Ⅲ	学科	ファッションスペシャリスト科	担当教員	曾子 佳世/外部講師
【授業概要・目標】 より良いパターンを制作するために、体の動きと構造を学ぶ							
【評価方法】 出席日数、作品提出							
	指導内容						時間
1	骨格と筋肉						
2	上肢と肩甲骨の動き						
3	原型と体型について						
4	立体パターンと、体の動きの関係						
5	外部講師による特別講義						
6							15
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 プリント配布、服装造形論							
【実務経験】 文化服装学院にて体系研究所の所長として長年の実務経験有り							

教育指導要綱

2026年度

科目	前期選択授業Ⅲ(レザー)	学年	Ⅲ	学科	ファッションスペシャリスト科	担当教員	木戸 宗
【授業概要・目標】 手縫いでレザー作品を制作する。ミシンとは違う縫い方を学び、今後の作品制作に生かせるよう知識を深める。							
【評価方法】 作品、出席状況							
	指導内容						時間
1	道具の説明、ナイフの使い方						
2	基本的な縫い方						
3	作品制作						
4							30
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 プリント							
【実務経験】							

教育指導要綱

2026年度

科目	前期選択授業Ⅲ (PM対策)	学年	Ⅲ	学科	ファッションスペシャリスト科	担当教員	佐々木 司
【授業概要・目標】 作図・ファーストパターン・トワルトレース・裁断・ピン組み立て、すべての工程においてデモンストレーションの確認～実習を繰り返し行い、合格できる技術を身につける							
【評価方法】 出席状況、授業態度、模擬テストの出来栄えにより、点数強化する							
	指導内容						時間
1	パターンメイキング技術検定2級概論						
2	プリンセスラインJK 作図						
3	" ファーストパターン						
4	ダブルブレストJK 作図						
5	" ファーストパターン						
6	プリンセスラインJK トワル、トレース、裁断						
7	" トワル、ピン組み立て						
8	ダブルブレストJK トワル、トレース、裁断						
9	" トワル、ピン組み立て						
10	模擬テスト(1型)～まとめ						
11							30
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 PM検定2級テキスト、平面作図用具、立体裁断用具							
【実務経験】 株式会社ワールドストアパートナーズにてパタンナーの経験有							

教育指導要綱

2026年度

科目	前期選択授業Ⅲ(手編み)	学年	Ⅲ	学科	ファッションスペシャリスト科	担当教員	鹿野 陽子
【授業概要・目標】 棒編みの方法を学び、作品を制作する。							
【評価方法】 提出物							
	指導内容						時間
1	棒編みの種類、棒編みの使い方						
2	作品制作						
3							30
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 プリント							
【実務経験】 ニット工人館KANO代表、日本編物検定協会宮城県支部長、日本アートクラフト協会理事							

教育指導要綱

2026年度

科目	後期選択授業Ⅲ(レザー)	学年	Ⅲ	学科	ファッションスペシャリスト科	担当教員	木戸 宗
【授業概要・目標】 手縫いでレザー作品を制作する。ミシンとは違う縫い方を学び、今後の作品制作に生かせるよう知識を深める。							
【評価方法】 作品、出席状況							
	指導内容						時間
1	道具の説明、ナイフの使い方						
2	基本的な縫い方						
3	作品制作						
4							30
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 プリント							
【実務経験】							

教育指導要綱

2026年度

科目	後期選択授業Ⅲ (PM対策)	学年	Ⅲ	学科	ファッションスペシャリスト科	担当教員	佐々木 司
【授業概要・目標】 作図・ファーストパターン・トワルトレース・裁断・ピン組み立て、すべての工程においてデモンストレーションの確認～実習を繰り返し行い、合格できる技術を身につける							
【評価方法】 出席状況、授業態度、模擬テストの出来栄えにより、点数強化する							
	指導内容						時間
1	パターンメイキング技術検定3級概論						
2	デザインブラウス① 作図						
3	" ファーストパターン						
4	デザインブラウス② 作図						
5	" ファーストパターン						
6	デザインブラウス① トワル、トレース、裁断						
7	" トワル、ピン組み立て						
8	デザインブラウス② トワル、トレース、裁断						
9	" トワル、ピン組み立て						
10	模擬テスト(1型)～まとめ						
11							30
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 PM検定3級テキスト、平面作図用具、立体裁断用具							
【実務経験】 株式会社ワールドストアパートナーズにてパタンナーの経験有							

教育指導要綱

2026年度

科目	後期選択授業Ⅲ(手編み)	学年	Ⅲ	学科	ファッションスペシャリスト科	担当教員	鹿野 陽子
【授業概要・目標】 棒編みの方法を学び、作品を制作する。							
【評価方法】 提出物							
	指導内容						時間
1	棒編みの種類、棒編みの使い方						
2	作品制作						
3							30
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 プリント							
【実務経験】 ニット工人館KANO代表、日本編物検定協会宮城県支部長、日本アートクラフト協会理事							

教育指導要綱

2026年度

科目	一般教養Ⅲ	学年	Ⅲ	学科	ファッションスペシャリスト科	担当教員	増子 佳世
【授業概要・目標】 就職のため、また自身の学習のためのファッションリサーチを年間を通して行う。							
【評価方法】 出席日数と提出物にて点数採点							
	指導内容						時間
1	デザインリサーチ						
2	マーケットの動向						
3	流行などの調査						
4	流行などの調査						
5	まとめ						
6							15
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【使用教材】 インターネット、WWD							
【実務経験】							

教育指導要綱

2026年度

科目	イベント企画Ⅲ	学年	Ⅲ	学科	ファッションスペシャリスト科	担当教員	増子 佳世
<p>【授業概要・目標】 オープンキャンパス、外部からの依頼のファッションショーや文化祭での展示等を企画、開催し、それをとおして、協調性やグループワークの向上を図る。</p>							
<p>【評価方法】 出席日数と作品提出により点数評価</p>							
	指導内容						時間
1	行事の企画開催準備						
2	外部とのイベントに対しての企画開催準備						30
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
<p>【使用教材】</p>							
<p>【実務経験】</p>							